埼剣連第47号

令和5年5月15日

各加盟団体長　様

公益財団法人 埼玉県剣道連盟

会　長　　山　中　茂　樹

第27回 埼玉県女子剣道選手権大会

兼第62回 全日本女子剣道選手権大会予選会の

実施について(通知)

このことについて、下記のとおり実施しますので、資格条件を満たす者を確認の上、申し込まれるようお願い致します。

なお、本大会は、令和5年9月3日(日)奈良県橿原市において開催予定です。

記

1　日　時　　令和5年7月17日(月・祝)

受付検量　午前12時20分～12時50分（主道場入口）

※第18回都道府県少年予選会終了後　開会

※午前11：00より第二道場を開放しています。

2　会　場　　県立武道館　主道場

〒362-0032 上尾市日の出4-1877　　TEL 048-777-2400

3　大会出場および運営にあたって

1. 当日の体温が37.5度以上の方、体調がすぐれない方は出場をお控えください。
2. 武道館への入場は1階正面入口とします。
3. 選手は面マスクまたはシールドを着用する。
4. 会場でのマスクの着用は個人の判断が基本となりますが、着用が効果的である場面ではマスクの着用を推奨します。

4 出場資格 (1) 令和5年4月30日以前から本大会参加時まで、引き続き埼玉県剣道連盟の登録会員であること。

(2) 年齢満18歳以上とし、段位の制限はない。

（年齢計算は、令和6年４月1日を基準とし平成18年4月1日以前に生まれた者）

　　　　　　 (3) 予選会出場は1か所とする。違反した場合は出場を取消す。

5　申込方法　「全日本女子予選申込書」を使用し6月19日(月)までに、エントリーフォームより申し込みください。

※申込者のない加盟団体も御報告ください。

6　試合・審判および試合方法

1. 全日本剣道連盟　剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法）に記載の試合方法による。
2. 試合は、トーナメント方式による。
3. 試合は3本勝負とし、試合時間は5分とする。勝敗が決しない場合は延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってからの試合時間は3分区切りで、延長3回で1回5分の休憩を取り勝敗の決するまで継続する。

7　表　彰　　第1位、第２位、第3位に賞状及び賞品を授与する。

優勝杯（持ち回り）

8　ビデオ撮影等について

全日本剣道連盟ホームページ2019年3月22日更新「大会等におけるビデオ撮影等について」に準拠します。

[大会等におけるビデオ撮影等について](https://www.kendo.or.jp/information/20190322/)

8　欠席連絡　7月14日午後5時までは埼玉県剣道連盟事務局（048-834-8869）、それ以降は埼剣連携帯電話（080-3737-9368・080-3737-9380）へSMS（ショートメッセージ）にて必ず連絡のこと。

9　安全対策　 本連盟として傷害保険に加入しています。なお、大会中の負傷、

 疾病については、応急処置のみ行います。

保険証を持参のこと。

10　個人情報保護法への対応（以下を申込者に周知してください。）

申込書に記載される個人情報(登録加盟団体、漢字氏名、カナ氏名、生年月日、年齢、称号・段位、職業等)は、全日本剣道連盟および埼玉県剣道連盟が実施する本大会運営のために利用する。なお、登加盟団体名、氏名、年齢等の最小限の個人情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣窓等)に公表することがある。

**剣道用具の取り扱いについて**

1. 竹刀検査の本数は、選手一人につき3本までとする。以降は必要に応じて本部にて竹刀検査を行う。
2. 竹刀の長さ（全長・先革長）、重さ、太さ（先革先端対辺直径値及び先端より8cmのちくとう部対角直径値）は、表と図のとおりとする。

ピース（四つ割り竹）の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更をしたものの使用は認めない。

1. 小手はこぶしと前腕（肘から手首の最長部）の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ふとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。

小手ふとん部のえぐり（クリ）の深さについては小手ふとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。

1. 面ふとん部は安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
2. 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保する。（構えたときに肘関節が隠れること）



図、竹刀の先革長、先革先端部最少直径、ちくとう直径の計測方法

